



障がい福祉サービス事業を考え、生き方を考える

サービスは、個々の障がいのある人々の障がい程度や勘案すべき事項(社会活動や介護者、居住等の状況)を踏まえ、個別に支給決定が行なわれる「障害福祉サービス」と市町村の創意工夫により、利用者の方々の状況に応じて柔軟に実施できる「地域生活支援事業」に大別される。「障害福祉サービス」は、介護の支援を受ける場合には、「介護給付」、訓練等の支援を受ける場合は、「訓練等給付」に位置付けられていると厚労省が説明している。多機能型である、えーる油山が実施している就労継続支援B型事業は、訓練等給付となり、生活介護事業は、介護給付を受けているわけである。障がい者の日常生活を支えるため、居宅介護(ホームヘルプ・・・入浴、排泄、食事等)のためのヘルパー派遣事業等、さらに介護を行なう者の疾病その他の理由により利用でき、泊まることができるショートステイサービスがある。葦の家では、その他にグループホームや城南区基幹相談支援センター、特別支援学校放課後等支援事業等を実施している。このサービスを利用したいと思う時、自分が住んでいる近くに事業所があるのか、利用したいときに書類等がめんどくさくないのか、費用はどれくらいかかるのか、といったことを考えると悩み、サービスの利用が遅れたり、やめたりするケースがある。私ごとではあるが、義母が高齢施設に入所するようになった。やはりお金という世界が幅を利かす。住み心地が良くてケア付き、交通アクセスが良い・・・となると高額になる。高齢化社会の中で誰もが利用しやすく、安価で質の高い(人、物、事)サービスを生み出さねばならないと感じる。ある企業にこんな言葉があった。だからいま、あなたの力が必要です。あなたにしかできないことが、ここにあります。年齢も、性別も、国籍も、関係ない。連綿と続く日本の技術を次世代につなげるのは、いま、情熱を感じたあなただけ。それは、次の新しい人生のために・・・ 実に気になる言葉である。

多機能型障がい福祉サービス事業所えーる油山管理者 小関 正利

☆成人を祝う会☆

えーる油山では、9名の仲間が新成人となりました。堤公民館で行なわれた成人を祝う会では、本番に強い仲間達の凛々しい姿に頼もしさを感じました。ご参加頂いた皆様、パティスリーコイデ様、葦の家後援会・保護者会の皆様、ご協力頂いた関係者の皆様、日々支えて頂いている地域の皆様に感謝致します。

(支援員 並木)

♪なかまちゃんねる♪

1月4日の仕事始めの日に、仲間と職員で樋井川にある「御子神社」へ初詣に行きました。仲間のSさんに何をお願いしたのか尋ねると「美味しいものをたくさん食べられますように」と願ったそうです(^_^)

葦の家福祉会作品展 ～なに?十二?What?～

2019年1月24日(木)～1月29日(火)に福岡アジア美術館7階でえーる油山と葦の家との合同作品展が開催されました。連日たくさんの方が来られました☆このような機会を作ることができ、普段、仲間達が創作活動で描いている作品を皆様に見て頂けて、仲間・職員共々嬉しく思っています。ご来場頂いた皆様本当にありがとうございました。(支援員 竹下)

●●2月の予定●●

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 2日 ふれあいバザー(葦の家駐車場) | 12日 ハローデイ橋本店バザー |
| ～4日 まごころ製品大規模販売会(福岡三越9階) | 18日 就B班外出(マリンワールド) |
| 5日 豆まき | 21日 ハローデイ周船寺店バザー |
| 7日 ハローデイ春日店バザー | 24日 葦の家福祉会 実践研究発表会(葦の家食堂) |
| | 28日 ボンラパス薬院店バザー |